

生み出す価値、
それは地域の資産となる。



**Futaba
Kōsetsu
Konsultānto**

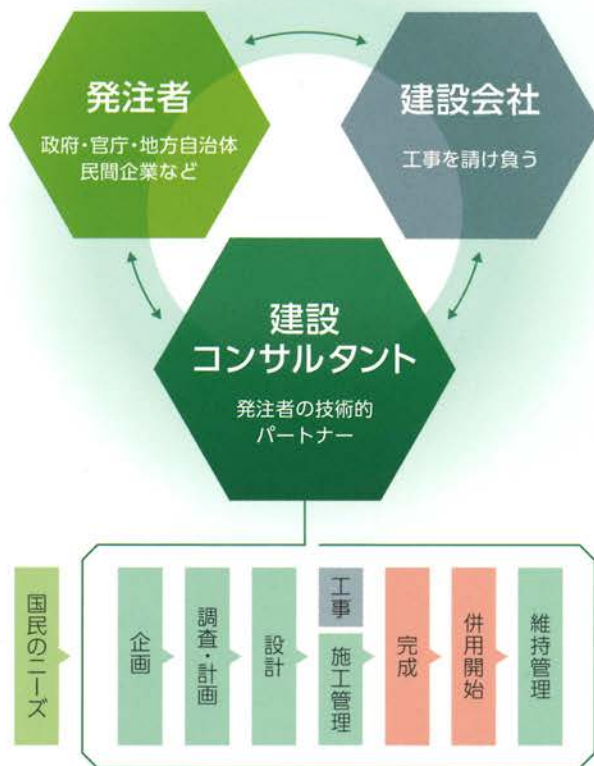
入社案内

株式会社 双葉建設コンサルタント

建設コンサルタントは 「社会資本整備」に 重要な役割を担う仕事です。

安心・安全で快適な環境を叶えたい。その一方で自然災害の規模が甚大となり、日常化しているのが現実です。最上地方、そして山形県に於いても人々の利便性を追求したり、家屋や財産を守るノウハウを提供したりする建設コンサルタントの役割がクローズアップされています。道路・橋・河川、さらに防災などに関するプロとして公共事業で活躍します。

DX(デジタル・トランスフォーメーション)が進展しています。当社は、三次元データ活用や人工知能(AI)の導入などICTに対応できる技術者集団を目指します。ドローン飛行に象徴されるように、現場での情報収集の方法が変われば、その後の情報処理でも生産性の向上を図れます。新しい革新を生み出すために、探求するマインドを持ち続けましょう。



新たな時代への挑戦。

新庄に拠点を置きつつ、活動エリアが山形県全域から県外へと広がっています。顧客である国・県・市町村からの信頼に応えるパートナーシップを育んできました。現場では協調性を発揮し、チームプレーが出来ること。さまざまな経験や資格を活かし、やり方を創り出す工夫も大切です。専門的な知識と技術は、入社してから身に付けば良いと考えています。建設コンサルタントという仕事、そして当社に興味を持たれた方との出会いを楽しみにしています。

代表取締役社長 海藤 剛



測量設計業からの変革

ICTを活用する情報産業化

精緻な三次元画像処理

無人航空機(UAV)による三次元計測

設計

諏訪 明日香

2021年入社
建築・環境デザイン学科卒



02

One Day Schedule

8:30 出社・ミーティング

クライアントの一つ、最上総合支庁を訪問する日。インフラ長寿命化の方針を巡り、意見交換に臨む。

9:30 打ち合わせスタート

橋梁の補修設計について現地の様子、進捗状況、コストなどを説明した後、担当者との質疑に入る。

13:00 内容を精査

発注側と受注側が情報共有を図るため、打ち合わせ簿への記載内容を精査する。上司の確認を取る。

15:00 設計業務に専心

コンピュータと向き合い、設計業務。納品へ向けてペースを上げている。

17:30 退社

区切りの良いところで、本日の業務を終える。明日も気持ちよくスタートできるようにデータ類や資料を整え、退社。

Off Time



2週間に一度、ペットに癒されに実家へ帰ります。飼っているのはネズミの仲間「チンチラ」といって、とても可愛らしいですよ。ひとりカラオケも好きで、アニソンをメドレーで歌えます。

Q. 入社のきっかけは？

私は天童の出身で、東北芸術工科大学の建築・環境デザイン学科を出ました。CADの初歩は習得しており、山形で活かす道を探っていました。建築を通して景観の特徴を捉えるよう意識しており、そこに建設コンサルタント業務との接点を感じました。

Q. どんな学生生活でしたか？

卒業の際、論文が作品の提出が義務づけられており論文を選びました。「城下町の中の寺町」がテーマです。弘前や会津若松などで見られる景観が、なぜ作られたのか現地調査を踏まえて解き明かしました。こうした体験が私のバックグラウンドです。

Q. 現在の業務の特徴は？

市町村・県・国をクライアントに橋梁の補修設計に携わっています。インフラ長寿命化は差し迫っており、住民の暮らしに深く関わります。新庄市内や近接する市町村の河川にかかる鋼橋や、田園地帯の水路に架かるコンクリート橋なども担当です。

Q. 成長の手応えは？

入社した頃、あちこちの橋を見て回ったのが勉強になりました。小さな橋、大きな橋…それぞれの構造や部位ごとの目的を教わったことが、現在の仕事に活かされています。今では設計ソフトの使い方にも慣れ、すこしずつ任されていると感じています。

Q. 地域との一体感を覚える時は？

CD・図面・計画書等を納品すると私たちの業務は完了です。その後は施工図面に従って工事が行われるわけですが人や車が通り、地図に残ると思うと誇らしげな気持ちになります。ふるさとと共に歩む証を、これからも残していきたいです。

♥ 地域への想い

新庄は雪が多くて…という声もあります。土地の個性と解すれば受け止め方は違ってきます。都会にないものが全部ある。プラス思考で考えています。

💬 メッセージ

仕事は仕事、休みは休み。オン・オフの切り替え上手も、一人前の社会人への条件です。先輩、上司と精神的な距離が近いので困った時は頼りになります。

補償調査

武田 大介

2016年入社
普通科卒



Daisuke Takeda

03

One Day Schedule

- 8:30 出社・ミーティング**
最上郡内で土砂崩れ対策が進行中。メンバー6人が集合した後、車で移動。測量して用地調査が主務。
- 9:00 現場に到着**
所要時間30分ほど。道路が良くなったので最上郡内なら、ほぼ同タイムで到着できるようになった。
- 9:30 測量スタート**
用地・工作物などの現況が補償金を算定する基準。いつも誠意を持ち、迅速な調査を心がけている。
- 16:30 帰社・1日のまとめ**
地元住民から県に対し、要望があげられた経緯も把握。丁寧な取りまとめを心掛ける。
- 17:30 退社**
今週は近接する市町村への現場通いが続くので、帰宅して体をゆっくり休める。

Off Time



ゆっくり過ごそうと思ひ、休日には温泉巡りを楽しんでいます。山形県内どこへでも行きますよ。また週末に1日、中学校で柔道のコーチを務めています。

Q. 入社してからの流れは？

最初の2年は測量業務に携わりました。路線測量、水上での深浅測量などを通して安全管理の方法、スキルを習得しました。3年目に、用地が関連する部署に異動です。道路を造ったり河川を改修したりする時、調査を踏まえ補償金を算定するための資料を作成する業務です。

Q. 現地での動きは？

今回担当した業務の場合は「家屋を守ろう」という点で地元と行政の考えが一致したので、用地調査がスムーズに済みました。県の担当者が同行する場面も、しばしば。家屋移転に加え、土地の権利関係も絡むので、地権者とのコミュニケーションに気を遣いました。

Q. 仕事の難しさを感じる場面は？

たとえば法務局で図面を広げ、土地にまつわる権利の移り変わりを調べる時ですね。明治の頃まで時代を遡るケースとか、地目が転々と動いているとか…。データベースへアクセスする習慣を含め、その都度、確かな情報を追求する粘り強さが備わりました。

Q. 業務は、どういう段階を踏みますか？

測量を終えると、社内での仕事が待っています。CADを使い、調査データを図面に表していきます。地目ごとの境界線も確定させます。工作物や樹木など算定の対象は、さまざま。構造物の建設工事に先立ち、用地交渉で使う基礎資料を作成しています。

Q. 現場で得た教訓は？

地権者との交渉に欠かせないコミュニケーションの大切さです。人に来て話して初めて分かることも多いので、用地の担当になったなら物おじしないで声を掛ける、話を聞く、という姿勢が求められます。相手の懐に飛び込めば、道は開けると信じています。

♥ 地域への想い

地元の新庄と、その周りの地域のために働こうと考えていました。山あり川ありの自然が大好きです。建設コンサルタントの仕事を通し、愛着が深まっています。

💬 メッセージ

毎日が勉強ですが焦らず弛まず、一つずつ課題を解決するようにしています。実力を育てて未来に羽ばたける仕事です。

測量

高橋 雄大

2011年入社
建設システム科卒



01

One Day Schedule

8:30 出社・ミーティング

今日は、真室川の現況調査に行く日。メンバーの役割を確認し、船舶ほか機材一式を車に積み込む。

9:30 現場へ

およそ1時間で到着。測量開始の前に、草を刈ってルートを確認。どんな時も安全第一で行動。

10:30 船舶の上

実測数値や気づいた点を野帳に書き込む。地形の経年変化も見逃さないよう、神経を研ぎ澄ます。

15:00 帰社・データ解析

計測結果を持ち帰り、データを入力して可視化する作業へ移る。画像で表示すると、リアルさが増す。

17:30 退社

明日の現場は、おなじく最上川の支流・鮭川。機材を整えて準備万端。今日は早く寝ることにする。

Off Time



ちよくちよく海釣りに出かけます。友人と遊漁船に乗り、飛島や鼠ヶ関の沖合のポイントでブリや真鯛を釣ることが好きです。とても引きが強く病みつきになります。

Q. 現在の仕事内容は？

真室川・鮭川など最上川には、いくつか支流があります。こうした河川の年ごとの変化を図面に落とし込む作業です。これが治水対策の基礎資料となり、現状を把握できます。堤防を造ったり、家屋が移転したりする際に拠りどころとして活かされます。

Q. やりがいは、どんな点ですか？

現場作業中に、地域住民の方から工事を心待ちにしていることを伝えられることがあります。必要とされている仕事をしていると実感し、やりがいを感じます。ハイテクを駆使する感覚も強いですね。今ときは測量でドローンを使うのが主流で、工程の変化をリアルに感じられる点も意欲を起こさせます。

Q. 入社 の 動機は？

高校生の時、測量技術の精度と速さを競う「山形県高等学校サーベイコンテスト」に参加しました。国土の保全や公共事業で重要な役割を果たす仕事への興味が広がり、それと同時に、生まれ育った地元へ何かの形で貢献しようとの思いが深まりました。

Q. 会社 の 雰囲気は？

入社して、ずっと今の部署で働いています。アットホームな雰囲気、先輩や上司から丁寧に教わる機会が多く、困った時は助け舟を出してもらえます。それに応えて努力する姿勢が大切ですね。

Q. この会社で働く魅力は？

さまざまな測量技術を習得できることに尽きると思います。道路・河川の地形測量、基準点・GPS測量、河川・湖沼・海上の測量ならびに流量観測、さらに空中写真測量など幅広く対応しています。結果として地域防災、人々の安心・安全に結び付きます。

♥ 地域への想い

高校生の時に参加した県のサーベイコンテストで、縁がありドローン部門の審査員を務めることができました。自分のように生まれ育った地元へ測量を通して貢献しようと思ってくれる人に繋がると嬉しいです。

💬 メッセージ

新庄に住んでいると、なぜか心が落ち着きます。好きな仕事に打ち込めるのも良いですね。家からマイカーで15分の通勤。まさに職住近接のメリットです。

Career Up



資格の取得



技術士(国家資格)及びRCCM(建設コンサルタンツ協会資格)は、
管理技術者になるための必要条件です。

仕事の役割



当社の登録業種は、建設コンサルタント業をはじめ地質調査業・補償コンサルタント業・測量業・一級建築士事務所です。技術士・RCCMほか業務に必要とされる資格取得に向け、会社が経費100%を補助します。テキスト代、登録費用、更新費用などもサポート対象です。各種試験に合格した社員が指導を務める講習も、有意義な機会です。一人一人がモチベーションを保ち、レベルアップを図ることで技術者が育っていきます。

先見性あふれる人材が活躍するステージです。

採用に関するご質問・ご相談には随時、対応いたします。



総務部 佐藤 香奈子



Futaba
Kensetsu
Consultant

株式会社 双葉建設コンサルタント

〒996-0002 山形県新庄市金沢字谷地田1399番11
TEL. 0223-22-0891 E-mail. pi@futaba-c.co.jp

<http://www.futaba-c.co.jp/>

